

**製品名: リボソームタンパク質 S4Y1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17187**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	29kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPS4Y1
別名	RPS4Y1; RPS4Y; 40S ribosomal protein S4; Y isoform 1
遺伝子 ID	6192.0
SwissProt ID	P22090
免疫原	抗血清はヒト RPS4Y1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 214-263

**背景**

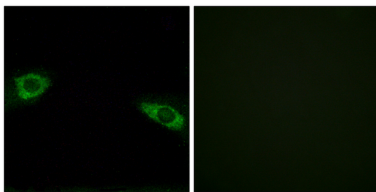
細胞質リボソームはタンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは合わせて 4 種類の RNA と約 80 種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子

は、40Sサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質 S4 をコードしています。リボソームタンパク質 S4 は、この遺伝子とリボソームタンパク質 S4 X連鎖遺伝子 (RPS4X) の2つの遺伝子によってコードされることが知られている唯一のリボソームタンパク質です。これらの遺伝子によってコードされる2つのアイソフォームは同一ではありませんが、機能的に同等です。リボソームタンパク質 S4 は、リボソームタンパク質の S4E ファミリーに属します。ターナー症候群において、リボソームタンパク質 S4 遺伝子のハプロ不全が関与している可能性が示唆されていますが、この仮説には議論があります。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、この遺伝子には処理された偽遺伝子が複数存在し、その他に散在している:このアイソフォームは Y 染色体上にコードされている。類似性:リボソームタンパク質 S4e ファミリーに属する。類似性:1つの S4 RNA 結合ドメインを含む。

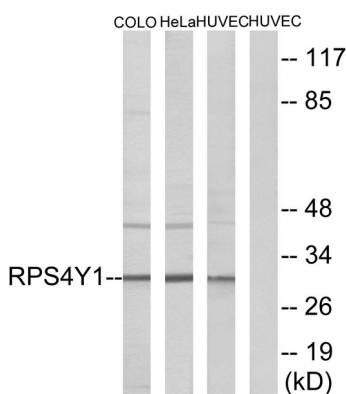
## 研究分野

リボソーム;

## 画像データ



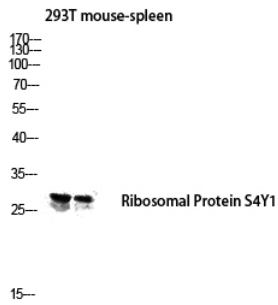
RPS4Y1 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



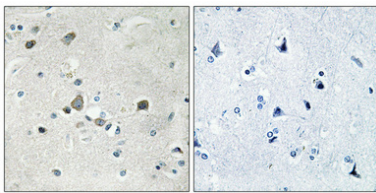
RPS4Y1 抗体を用いた HUVEC、HeLa 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



リボソームタンパク質 S4Y1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



リボソームタンパク質 S4Y1 抗体を用いた 293T マウス脾臓溶解液のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。